

# 防災通信

No.39号

2023年1月1日

県ドリームハイツ防災隊 教育広報部

TEL&FAX 045-851-2596

災害発生時、特にマンションでは**在宅避難**が基本であり、その重要性和必要な事前準備の具体的情報を防災通信No.35号以降で掲載中です。

災害時、在宅避難に勝る環境は無く、在宅避難できるための準備が最重要です。

在宅避難するための主な準備事項は下図のとおりです。具体的内容は当防災通信で順次紹介しており、図中の    枠の項目は紹介済です。⇒当該枠の内容は発行済各防災通信を参照願います。

本号では    枠の**4項目**をまとめて紹介します。

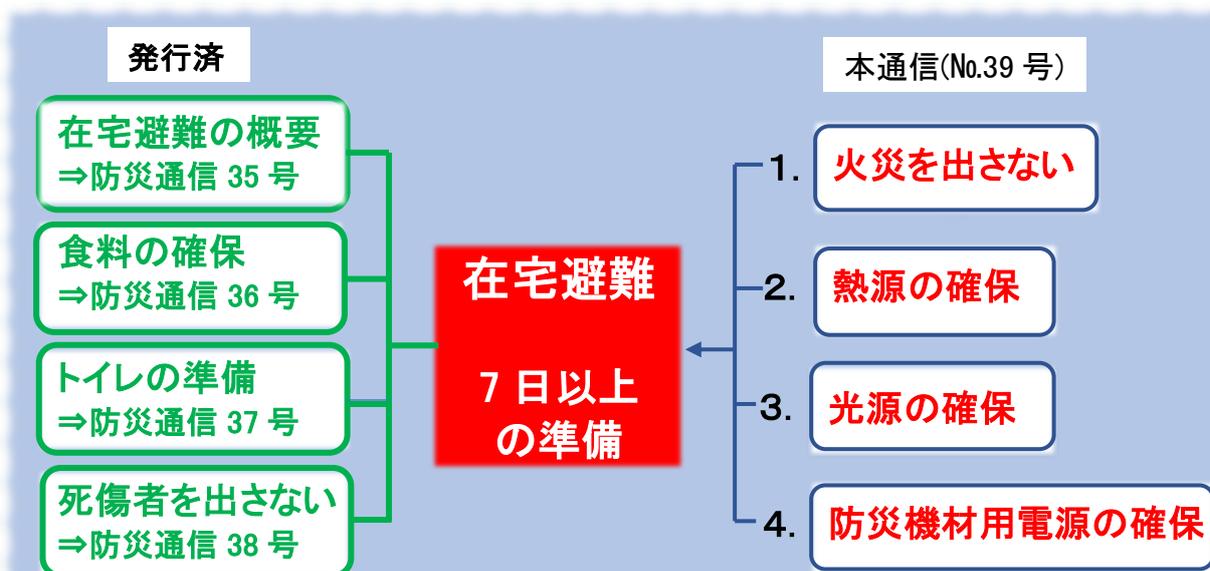


図1 在宅避難のための重要な準備事項(在宅避難7日)

## 1. 火災を出さない

### 1.1 発火の早期発見

a. **火災警報器**の設置 (2011年消防法で義務化)

- ① 天井型    ② 壁掛型

b. 設置場所⇒**台所、寝室**

⇒火災による**死者半減** (消防庁 HP)



① 天井型



② 壁掛型

### 1.2 初期消火の実施 (火が出たときは即実施)

a. **消火器**の設置

- ① **エアゾール式**消火器

⇒**小規模火災(油鍋の発火程度)**に速攻で有効

- ② **粉末式**消火器

⇒**床等周りに火が回ったとき**使用

b. 設置場所⇒**台所**、(火気使用の多い場所)



① エアゾール式



② 粉末式

## 2. 熱源の確保

### 2.1 カセットガスによる熱源

- ① カセットガスコンロ
- ② カセットガスボンベの備蓄(家族2人の標準値)
  - a. 9本以上 (1.3本(2時間)／日×7日)
  - b. 有効期限⇒7年
  - c. ボンベ腐食(危険)状況の定期チェック



### 2.2 IHクッキングヒーターによる熱源

災害時の電気の復旧は他のインフラと比べて大幅に早い。  
(東京直下地震での試算(内閣府)⇒電気:6日、上水道:30日  
都市ガス:55日)  
⇒IHヒーターの活用は期待できる。



## 3. 光源の確保

### 3.1 周りを明るくする。

⇒ **ランタン**、ろうそく 他

### 3.2 スポットで明るくする。

⇒ **懐中電灯**、ヘッドライト 他



## 4. 防災機材用電源(電池)の確保

### 4.1 保有防災機材に**適合した電池**の種類/サイズを確認

⇒各機材毎に**1回以上交換できる量**を常に備蓄する。

### 4.2 本通信記載以外の機材の電池の例

⇒携帯ラジオ用電池、スマホ充電用蓄電池、火災警報器用電池(定期交換の実施)

在宅避難をテーマとした防災通信のシリーズは本号で終了します。

図1を確認項目として、**発行済防災通信(35～38号)**及び**本通信(39号)**を参考にして**在宅避難準備の再確認**をお願いします。

### 《防災隊ホームページ閲覧のお勧め》

「**ドリーム燦燦(サンサン)**」 ←(インターネットから検索)

(本HPは当ハイツ周辺の構成団体等から、地域への広報ツールとして運営)

標題ページ右下「**県ドリームハイツ防災隊トップ**」ボタンをクリック ⇒ **防災隊のHP** 表示  
→ 防災隊の各種活動、防災マニュアル、防災通信などが掲載されています。